

勵

四年
画数
オノ
フン

信伸健 勵
ドウ
はたらいく

13



成り立ち

“動く”という意味の “動” (3年 389) と、 “イ” とを組み合わせて作った字です。

「人が動く」という意味を表した字で、「はたらく」ことを表したものです。この字は、日本で作られた字で中國でもこの字を使うようになりました。それで、ドウという音があります。

特

四年
画数
オノ
フン

筆順
牛 牛 牛 牛 特
10
トク
成り立ち



『役所』の意味の “寺” (2年 152) と “牛” とを組み合わせて作った字です。

「役所で銅つている犠牲（神にいのるとき、神にささげる牛）」に使うための牛」のことを表したもので、それは「ふつうの牛」ではなくて「特別」の牛でしたから、

「特別（ふつうではないこと）」という使い方が生まれたものです。

「特」の音がトクであるわけは、「犠（子牛）」に因る。犠牲として選ばれるのは、子牛の時であって、だから、「犠」と呼ばれ、『特』の字もトクと呼ばれたのである。」

- △ 労働 (ロウドウ) (体を動かして、働くこと。)
- △ 稼働 (カドウ) (お金をかけぐために働くこと。また、機械を動かして働くこと。「稼動」とも書きます。)
- △ 実働 (ジドウ) (実際に働くこと。「実働時間は七時間だ」などといふふうに、つかいます。「実働時間」というのは、食事する時間や休み時間を除いた、実際に労働する時間のことです。)
- △ 使い方 (カタチ)
- △ 特別 (トクベツ) (ふつうでないこと。とびぬけていること。)
- △ 特徴 (トクショウ) (ふつうと違う、目立った所)
- △ 特長 (トクショウ) (ふつうと違う、特別に良い所。特別な長所。この製品の特長を、ご説明します。など)
- △ 特許 (トクセイ) (ふつうと違った、それだけが持っている性質。)
- △ 溫度計 (オンドケイ) (水銀の特性を使つて作られている「などといふうに、つかいます。」)
- △ 特許 (トクセイ) (特別な許可。とくに、発明や工夫について、それから生まれる利益を、考案者が独占する権利を許可することを言います。)